

この もんだいが 「さんすう1ねんせい」 の ボスだよ。  
 これまで ゲットした カードを すべて つかって  
 れんしゅうして きた せいかを はっきしよう!!!

<p>〈わける〉</p> <p>かずを じゆうに わける ちから</p>	<p>〈あわせる〉</p> <p>かずを あわせる ちから</p>	<p>〈10まとめ〉</p> <p>10の まとまりを みつける ちから</p>	<p>〈えざスペシャル〉</p> <p>えや ずを かいて かんけいを とらえたり せつめいしたり する ちから</p>
--	---------------------------------------	--	--

### 1 じかんめ

こうえんに 12にん います。9にん かえりました。  
 のこりは なんにん いますか。

① しきを かきましょう。

$$(12) - (9) = (3)$$

② こたえを もとめる ためには、どのように かんがえたら  
 いいのかな。カードを つかって かんがえて くみたましょう。

省略

③ 【12-9の けいさんの しかた】  
 きょうかしょを みて、かくにんして みましよう。

④ かんがえて きた ことを ふりかえりましよう。  
 この もんだいで つかったのは、つぎの (1)~(4)だよ。

- (1) かずを じゆうに わける ちから
  - (2) かずを あわせる ちから
  - (3) 10の まとまりを みつける ちから
  - (4) えや ずを かいて かんけいを とらえたり、せつめいしたり  
 する ちから
- みんなは つかえたか チェックして みよう。

	つかえたら ○を つけよう
かずを じゆうに わける ちから	<input type="radio"/>
かずを あわせる ちから	<input type="radio"/>
10の まとまりを みつける ちから	<input type="radio"/>
えや ずを かいて かんけいを とらえたり、 せつめいしたり する ちから	<input type="radio"/>

きょうの もんだいを とく ために いままでに ゲットした  
 カードは すべて つかえたかな? つかった ところを  
 おもいだして、カードの □に ○を つけよう。

〈わける〉 <input type="radio"/>	〈あわせる〉 <input type="checkbox"/>	〈10まとめ〉 <input type="radio"/>	〈えざスペシャル〉 <input type="checkbox"/>
-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	------------------------------------

これまでに てにいれた カードを つかえば、もんだいを  
 つくったり かいけつしたり 「さんすうの みき」を しっかりと  
 そだてる ことが できたね。

つぎからも この ちょうして さんすうの がくしゅうを すすめて  
 いこう!

【ふりかえり】 ●きょうの じゅぎょうは どうだったかな?



▶はやく かけた ひとは、その かおを  
 えらんだ りゆうを はなして みよう。

## 2じかんめ

けいさんの しかたを ともだちに はなして みよう。  
えや ずを つかいながら、はなしを しても いいよ。あいてが  
「わかった!」と いったら、したに サインを もらおう。

① 13-8

きょうも まえの じかんと おなじように すべての カードを  
つかって かいけつしよう。

〈わける〉

〈あわせる〉

〈10まとめ〉

〈えずスペシャル〉

えや ず

省 略

サイン

--	--	--

② 16-9=

けいさんの しかたを ともだちに はなして みよう。  
えや ずを つかいながら、はなしを しても いいよ。  
あいてが「わかった!」と いったら、したに サインを もらおう。

えや ず

省 略

サイン

--	--	--

きょうの もんだいを とく ために いままで に ゲットした  
カードは すべて つかえたかな? つかった ところを  
おもいだして、カードの □に ○を つけよう。

〈わける〉

〈あわせる〉

〈10まとめ〉

〈えずスペシャル〉



そうだね。カードを つかえば しっかり せつめいする ことが  
できたね。

つきからも この ちょうして、さんすうの がくしゅうを すすめて  
いこう!

【ふりかえり】 ●きょうの じゆぎょうは どうだったかな?

▶はやく かけた ひとは、その かおを  
えらんだ りゆうを はなして みよう。

## 3じかんめ

りんごが 11こ あります。2こ たべました。  
のこりは なんこですか。



きょうの もんだいも すべての カードを つかうと  
かいけつできるよ!

さあ かんがえて みよう!

〈わける〉

〈あわせる〉

〈10まとめ〉

〈えずスペシャル〉

① しきを かきましょう。

しき:  $11 - 2 = 9$

② こたえを もとめる ためには、どのように かんがえたら  
よいでしょうか。じぶんの かんがえを かきましょう。

例: 11 を 10 と 1 にわける。  
10 から 9 をとる。  
このように かんがえます。

10を どのように して みつけたかな?

ここまでが くしゅうして きた「くりさがりの ある  
ひきざん」と ちがう ところは あるかな?

③ 11-2の けいさんの しかたを せつめいしましょう。

えや ず

省略

サイン

--	--	--

【11-2の けいさんの しかた】

きょうかしよを みて、かくにんして みましょう。

きょうの もんだいを とく ために いままで に ゲットした  
カードは すべて つかえたかな? つかった ところを  
おもいだして、カードの □に ○を つけよう。

〈わける〉

〈あわせる〉

〈10まとめ〉

〈えずスペシャル〉



そうだね。カードを つかえば しっかり せつめいする ことが  
できたね。

つぎからも この ちょうして、さんすうの がくしゅうを すすめて  
いこう!

【ふりかえり】 ●きょうの じゅぎょうは どうだったかな?



▶はやく かけた ひとは、その かおを  
えらんだ りゅうを はなして みよう。

## 4じかんめ

14-6の けいさんの しかたを せつめいするよ。  
2つの けいさんの しかたを みつけよう。

きょうの もんだいも すべての カードを つかうと  
かいけつできるよ!

さあ かんがえて みよう!

〈わける〉

〈あわせる〉

〈10まとめ〉

〈えずスペシャル〉

1つめの かんがえ

$$4 + 4 = 8$$

2つめの かんがえ

$$8$$

2つの かんがえかたで おなじ ところは なにかな?

10のまとまりがある  
ところです。

きょうの もんだいを とく ために いままで に ゲットした  
カードは すべて つかえたかな? つかった ところを  
おもいだして、カードの □に ○を つけよう。

〈わける〉



〈あわせる〉



〈10まとめ〉



〈えずスペシャル〉



そうだね。カードを つかえば しっかり せつめいする ことが  
できたね。

つぎからも この ちょうして、さんすうの がくしゅうを すすめて  
いこう!

## 【ふりかえり】

●きょうの じゅぎょうは どうだったかな?



▶はやく かけた ひとは、その かおを えらんだ りゆうを はなして みよう。

## 5じかんめ

がくしゅうした「くりさがりの ある ひきざん」の「さんすうのみき」をそだてよう。

**きにゆうれい**

**さんすうのみき**

11 - 2 = 9

ここはせんせいにきめてもらってもいいね

11から2をとりのぞくと、9になります。

りんごが11こあります。  
2つたべました。  
のこりは、9こになりました。

りんごが11こあります。  
2つたべました。  
のこりは、9こになりました。

こたえ 9こ

ここでは、11-2のけいさんのしかたを「ひとことコメント」にかこう。

●きょうの もんだいを とく ために つかった カードは どれだったかな？ つかった カードの □に ○を つけよう。

〈わける〉

〈あわせる〉

〈10まとめ〉

〈えすスペシャル〉

これまでに てにいれた カードを つかえば もんだいを つくったり かいけつしたり、「さんすうのみき」を しっかりと そだてる ことが できたね。

つきからも この ちょうしで、さんすうの がくしゅうを すすめて いこう！

【ふりかえり】 ●きょうの じゅぎょうは どうだったかな？



▶はやく かけた ひと、その かおを えらんだ りゆうを はなして みよう。

## 9章 おおきい かず

解答・算数の幹は  
こちら→



子供たちは、ここまでの単元は「1～20までの世界」で学習を取り組んできました。しかし、この単元では、20より大きな数が登場していきます。子供たちの世界が広がっていくということです。100までの数の読み方、書き方、数の大小、順序、系列を理解することができるねらいです。また、「10のまとまり」の個数と端数で数の大きさや構成について考えていくことで、数についての豊かな感覚をもつことができます。

20までの数で登場した〈10まとめ〉〈わける〉というカードが、20より大きな数の場合のときにも活用することができるということ子供たち自身が気づいていくことで、〈10まとめ〉〈わける〉というカードがどんどんアップデートしていきます。これこそが、「主体的・対話的で深い学び」における「深い学び」と言えることでしょう。

■単元の流れ ※この単元で新しく獲得するカードはありません。

- 1時間目：10のまとまりをつくって数える
- 2時間目：20より大きな数を数えよう
- 3時間目：数の構成
- 4時間目：100の構成
- 5時間目：数表や数直線
- 6時間目：100をこえる数
- 7時間目：簡単な(何十) + (何十)、(2位数) + (1位数)の計算
- 8時間目：簡単な(何十) - (何十)、(2位数) - (1位数)の計算